

第35回

有島武郎青少年公募絵画展

有島記念館 Arishima Takeo Memorial Museum

有島記念館の若手芸術家応援の取り組みについて

有島記念館では、美術、音楽など若手芸術家に発表の場を提供するために2012年より展覧会やコンサート事業などさまざまな取り組みを行っています。美術関連では、過去の「有島武郎青少年公募絵画展」入選・出品者をはじめとして、活発な活動を行う作家を企画展「有島記念館若手作家展」シリーズとして紹介してきています。

このほか、35歳以下の作家を対象とした「平成の『生れ出づる悩み』コンテスト」を隔年で開催しています。また、2016年度より当館で紹介した若手作家の作品の購入・收藏を行い、その活動を後世へ伝える取り組みも行っています。



過去の「有島記念館若手作家展」

- 第1回：「再会-reunion展」(2013年)
- 第2回：「山下隆博写真展」・「新見亜矢子展」(2015年)
- 第3回：「平成の『生れ出づる悩み』2014展」(2015年)
- 第4回：「駒澤千波展」(2015年)
- 第5回：「石垣渉展」(2016年)
- 第6回：「カトウタツヤ展」(2017年)
- 第7回：「河野健展」(2017年)
- 第8回：「平成の『生れ出づる悩み』2016展」(2017年)
- 第9回：「曾田千夏展」(2019年)

作品を購入・收藏した若手作家

山下隆博、新見亜矢子、駒澤千波、石垣渉、カトウタツヤ、河野健、曾田千夏
(敬称略)



有島 武郎 Arishima Takeo

1878(明治11)年生まれ。『或る女』、『カインの末裔』などの代表作で知られる小説家。東北帝国大学農科大学教官時代には、美術同好会「黒百合会」の創立に関与するなど、北海道の美術史にも足跡を残す。

1918(大正7)年から発表された有島武郎の小説『生れ出づる悩み』は、のちの画家・木田金次郎が自らの境遇や絵画制作を続けるか否かに悩んでいた時、偶然に有島の住まいを見つけて、訪問した事実がモデルとなっている。木田は、この運命的な出会いをきっかけとして、有島の励ましを受けながら、郷土・岩内の自然と深く対峙して、画業を極めていく。この作品に描かれる、芸術と実生活との間で苦悩しながらも、絵を描こうとする芸術家の姿は、多くの読者の共感を得て、有島の代表作の一つと称されている。

1922(大正11)年、狩太(現・ニセコ町)に所有した自らの農場を無償解放し、翌年に軽井沢で没する。

鯉模様	高桑 茉桜	石狩市立浜益中学校3年
食うぞ！	山本 真亜沙	岩内町立岩内第二中学校3年
つれたぞーっ!!	堀 芽生	岩内町立岩内第一中学校1年
幸せの温もりを抱いた小さな弟	上野 心椿	岩内町立岩内第一中学校1年
心に差し込む陽光	田中 心春	岩内町立岩内第一中学校1年
ほほ笑みの先に見えるものは	吉田 愛理	岩内町立岩内第一中学校1年
風ゆらぐ夏	藤江 結衣	岩内町立岩内第一中学校1年
歳の数だけうれしさを	鈴木 愛來	岩内町立岩内第一中学校1年
祖母のぬくもり縫いつけて	加藤 夏映良	岩内町立岩内第一中学校3年
緑の湖	矢田 結愛	札幌市立宮の丘中学校3年
満月と化け狐	峯垣 ひなた	札幌市立宮の丘中学校3年

第35回
有島武郎青少年公募絵画展

『第35回有島武郎青少年公募絵画展』統計

応募作品	352点	入賞・入選作品	100点
高校生	166点	高校生	72点
中学生	186点	中学生	28点

図録『第35回有島武郎青少年公募絵画展』

発行日

2023年10月28日初版発行

編集・発行

ニセコ・有島記念館
〒048-1531 北海道虻田郡ニセコ町字有島57

印刷・製本

株式会社サンコー

この展覧会図録の編集・デザインは伊藤大介(有島記念館主任学芸員)が担当しました。

会期

2023年10月28日(土)～11月12日(日)

会場

有島記念館 特別展示室

主催

ニセコ町、北海道新聞社

主管

ニセコ町教育委員会

後援

北海道、北海道教育委員会

ごあいさつ

このたび有島記念館では、「第35回有島武郎青少年公募絵画展」を開催します。

当館が顕彰する有島武郎は、大正期を代表する白樺派の作家であるとともに、明治期の北海道における美術史にも足跡を残しました。有島は、1908(明治41)年、東北帝国大学農科大学美術同好会「黒百合会」の創設に関与します。有島は、同会個展に自作を出品するほか、美術雑誌としての側面を持っていた雑誌『白樺』の同人でもあったことから、後期印象派やロダンの彫刻作品などを紹介しました。この個展で有島の作品に深い感銘を受けたのは、若き日の木田金次郎です。その後、有島は木田を励まし、木田は郷土に根ざした画家として歩みを始めるのです。

有島記念館では、有島が持っていたこの美術振興の精神を継承するため、1989(平成元)年より本公募絵画展を開催しております。

今回は352点の応募があり、10月19日、20日の両日に審査会《審査委員長:佐藤友哉(前・札幌芸術の森美術館館長、美術評論家)、審査員:羽山雅愉(画家、全道展会員)、佐藤光雄(画家、全道展会員)、西村明美(画家、道展会員)、寺嶋弘道(有島記念館館長)》を実施。入賞・入選作品計100点が決定しました。

みなさんが切磋琢磨し、北海道はもとより、日本、そして世界をまたにかけて活動するアーティストへと、また美術活動に理解のある大人として成長していただくことが、主催者としての望みです。

最後になりましたが、この公募展の開催にあたり、出品者をはじめ、中学校及び高等学校美術教諭のみなさまなど、多くの方々にご協力を賜りました。ここに厚く御礼申し上げます。

主催者 ニセコ町
北海道新聞社

あなた
蝸壺にはまる
羽休め
流れ
恍惚
ソルトサマーメモリーズ
ハナマイク
百古不磨
いただきます
阿吽
2016年12月25日
ぱちゃ
呼吸
メンヘラ彼女
紅葉狩
侵食
夢中の癒し
私の相棒
Salt II
試合開始5秒前

中 学

色の獣
我が道を行く
微光
佳境
子供の部屋
復縁
時機
構成物質
光に向かって
夏の孤独
未知の可能性を信じて
虎

齊藤 梗生 北海道札幌厚別高等学校2年
清水 こはる 北海道札幌厚別高等学校2年
構 丸 夢 北海道札幌厚別高等学校2年
篠原 真歩 北海道札幌厚別高等学校1年
岩崎 ななみ 北海道札幌厚別高等学校2年
細川 倅歩 北星学園女子高等学校2年
小林 恵都 星槎国際高等学校1年
村本 知香 北海道岩内高等学校1年
齋藤 愛珠 北海道岩内高等学校1年
北濱 詩音 北海道岩内高等学校2年
高野 琴音 北海高等学校2年
坪谷 百音 北海高等学校2年
菅原 光莉 北海高等学校3年
矢野 菜々恵 北海道室蘭東翔高等学校2年
富山 花鈴 北海道室蘭東翔高等学校3年
柴田 歩乃花 北海道室蘭東翔高等学校2年
今井 偲雄 北海道札幌北陵高等学校3年
高畑 彩帆 北海道札幌北陵高等学校2年
恩田 一由 北海道高等聾学校2年
安齋 緋織 北海道岩見沢東高等学校2年

長谷川 璃心 千歳市立青葉中学校2年
佐藤 凜 千歳市立青葉中学校3年
佐藤 麻莉菜 恵庭市立恵明中学校3年
泉 春 亜 札幌市立清田中学校3年
加納 桜 江別市立江別第二中学校1年
宮西 美羽 江別市立江別第二中学校2年
竹島 優太 江別市立江別第二中学校3年
河瀬 埜々子 江別市立江別第二中学校3年
藤井 佑衣 札幌大谷中学校3年
長崎 珂音 釧路市立青陵中学校3年
大井 彩日香 釧路市立青陵中学校2年
小野寺 璃乃 北星学園女子中学校2年

入選

高 校

うさ原ストリート憧れ通り~Let's be stylish~	佑井 梨子	学校法人角川ドワンゴ学園N高等学校2年
愛する人と、共に生きる 2	石上 陽菜	北海道おといねっぶ美術工芸高等学校3年
少女衝突事件	道田 希月	北海道おといねっぶ美術工芸高等学校3年
光彩陸離	藤原 さら	駒澤大学附属苫小牧高等学校3年
ともだち	安積 百香	駒澤大学附属苫小牧高等学校3年
私だけの世界	山田 夕結	駒澤大学附属苫小牧高等学校2年
死の苦悩	甲 斐 航	市立札幌平岸高等学校1年
カインの末裔	佐藤 真実	市立札幌平岸高等学校2年
紫紅の籠	黒滝 千恵	札幌大谷高等学校3年
好景気	八重樫 梓紗	札幌大谷高等学校2年
港	早坂 丈太郎	札幌大谷高等学校2年
犬柄	桂 里 沙	札幌大谷高等学校3年
すすむ	千葉 ひなつ	札幌大谷高等学校1年
歩行	鍵谷 海音	札幌大谷高等学校1年
宝探し	藤野 綾音	札幌大谷高等学校1年
彩	横溝 柚穂	札幌大谷高等学校2年
トノサマガエル	泉 うらら	札幌大谷高等学校2年
慈愛	佐藤 由那	札幌大谷高等学校1年
レモンパフェ 食べたい!	田尻 妃菜	札幌大谷高等学校2年
頓知の効いた話	中家 花音	札幌大谷高等学校2年
添う	細川 心暖	札幌大谷高等学校2年
食用天使	林 杏 樹	札幌大谷高等学校2年
純粹無垢	奥山 杏樹	札幌大谷高等学校2年
樟蚕	高松 優衣	札幌大谷高等学校3年
プわふわ	長内 桜華	札幌大谷高等学校2年
心響	村田 奈穂	札幌大谷高等学校2年
自画像	大杉 幹	北海道遠軽高等学校2年
無邪気	西川 凜音	北海道遠軽高等学校1年
サッポロビール	清原 くるみ	北海道札幌啓成高等学校3年
青いあおい	野島 虹世	北海道札幌啓成高等学校2年
愛猫	中尾 柚月	北海道札幌啓成高等学校2年

目次

ごあいさつ

総評「第35回有島武郎青少年公募絵画展を審査して」 06
佐藤光雄（画家、全道展会員）

入賞作品 07
入賞・入選作品一覧 19

審査委員

審査委員長

佐藤友哉（前・札幌芸術の森美術館館長）

審査員

羽山雅愉（全道展会員）

佐藤光雄（全道展会員）

西村明美（道展会員）

寺嶋弘道（当館館長）

以上の5名により、2023年10月19日、20日の両日、
有島記念館にて厳正な審査が行われました。

謝辞

本公募絵画展の開催にあたり、多くの方々にご協力を賜りました。
厚く御礼申し上げます。

佐藤友哉

佐藤光雄

西村明美

羽山雅愉

北海道

北海道教育委員会

（順不同・敬称略）

講評「第35回有島武郎青少年公募絵画展」を審査して

佐藤 光雄（画家、全道展会員）

今年の審査もまた厳選でした。応募総数352点中、入賞・入選数が100点だから入選率は超難関の28%。佐藤友哉氏（前・札幌芸術の森美術館館長）を審査委員長に、羽山雅愉氏（全道展会員）、西村明美氏（道展会員）、寺嶋弘道氏（有島記念館館長）に私を加えた5名で行いました。中高生の皆さんが制約された時間の中で意欲的に誠実に取り組んできた作品だけに、皆一様に心を痛め後ろ髪を引かれる思いの2日間でした。

今回も例年どおりの高水準の作品が集まりましたが、従来みられた学校単位の傾向といったものが薄れていたことと、受賞者のほとんどが女子生徒で占められていたことが特徴的でした。そして、デジタルアートからも初の受賞者が出ました。

題材については、自分の理想とする想像の世界を描いたもの、学校や家庭生活からのもの、また広く社会生活に求めたものなど、多感な時期の青少年ならではの作品ばかりでした。風景画が少なかったのは、未だコロナ禍の延長にあるのか、デジタル社会になって室内で過ごす時間が多くなったせいなのか判りませんが、自然の中で風景と対峙して自分を表現する充実感も捨て難いものです。

また、中学生と高校生の「美術」は、発達段階においても経験や力量に差が出てくるのは一見明らかですが、それでもなお同じ条件でチャレンジし合うのは、青少年が絵画における純真なエネルギーを燃やし合い、そこから得られる自己啓発力や自己表現力の向上は本展の大きなねらいであり魅力でもあるのです。未熟なつぼみもいつかは花開く時が来ます。勇気を持って挑戦する中学生に大きな賛辞を送ります。

優れた絵画の成り立つ要素は、明確な主題、デッサン、画面構成、色彩感覚そして作品の充実度ですが、それらは粘り強く取り組む姿勢の中から芽生えてくるものなのかも知れません。次年度以降も果敢に応募して下さることを祈念致しております。

入賞・入選作品一覧

左より作品名、出品者名、出品者学校名、学年の順
敬称略

有島武郎賞

吾たらしめる所以 清水 芹春 北海道札幌厚別高等学校2年

北海道知事賞

繁栄 富樫 ののか 札幌大谷高等学校1年

北海道教育長賞

碎 竹内 向日葵 札幌大谷高等学校1年

ニセコ町長賞

宇宙のなかのひとつ 金山 唯 江別市立江別第二中学校2年

ニセコ町教育長賞

光が差す 押領司 美心 札幌大谷高等学校2年

北海道新聞社賞

私の滅日 山田 百花 北海道おといねっぶ美術工芸高等学校2年

審査員特別賞

若木 越前屋 杏莉 北海道おといねっぶ美術工芸高等学校2年

継承ソリン 横山 すてら 北海道おといねっぶ美術工芸高等学校3年

思い出 金子 夢来 北星学園女子高等学校2年

銀山温泉 上野 琴音 北海道檜山北高等学校3年

煌めく万緑 菱沼 夕楓 岩内町立岩内第一中学校3年

奨励賞

Mainstream 田村 佳凜 千歳市立青葉中学校3年

くつろぐ猫 南 出 光 北海道芸術高等学校1年

伝生器 横島 晴菜 北海道おといねっぶ美術工芸高等学校1年

南のあなたに恋をする 佐藤 かえで 北海道おといねっぶ美術工芸高等学校2年

甘党 後藤 真衣 駒澤大学附属苫小牧高等学校2年

一瞬 西山 羽衣子 市立札幌平岸高等学校1年

鮮美透涼 新井 芽依 札幌大谷高等学校2年

くじらのゆめ 寺下 幸来咲 札幌大谷高等学校2年

手掴み 大坂 さくら 札幌大谷高等学校2年

着飾る 中村 滢珈 札幌大谷高等学校2年

コイに溺れる 畑 芽 吹 札幌大谷高等学校2年

日常 清田 小鈴 釧路市立青陵中学校3年

個性を描きだす 斉藤 空 岩内町立岩内第二中学校3年

躍進 寺下 蒼生 北海道札幌北陵高等学校2年

生物 大川 伶良 北海道高等聾学校3年



《日常》
清田 小鈴
釧路市立青陵中学校3年



《個性を描きだす》
斉藤 空
岩内町立岩内第二中学校3年



《躍進》
寺下 蒼生
北海道札幌北陵高等学校2年



《生物》
大川 伶良
北海道高等聾学校3年



《吾たらしめる所以》
清水 芹春 北海道札幌厚別高等学校2年

寸評（佐藤光雄）
無数に漂うクラゲの長い触手が、画面に大きな動きと
色彩のハーモニーを奏でていて心地よく秀逸。



《繁栄》
富樫 ののか 札幌大谷高等学校1年

寸評（佐藤光雄）

母ウサギの愛情あふれる眼差しは子供達の生態に注がれており、
高い技術と入念な筆遣いはお見事。



《手掴み》
大坂 さくら
札幌大谷高等学校2年



《着飾る》
中村 澪珈
札幌大谷高等学校2年



《コイに溺れる》
畑 芽吹
札幌大谷高等学校2年



《甘党》
後藤 真衣
駒澤大学附属苫小牧高等学校2年



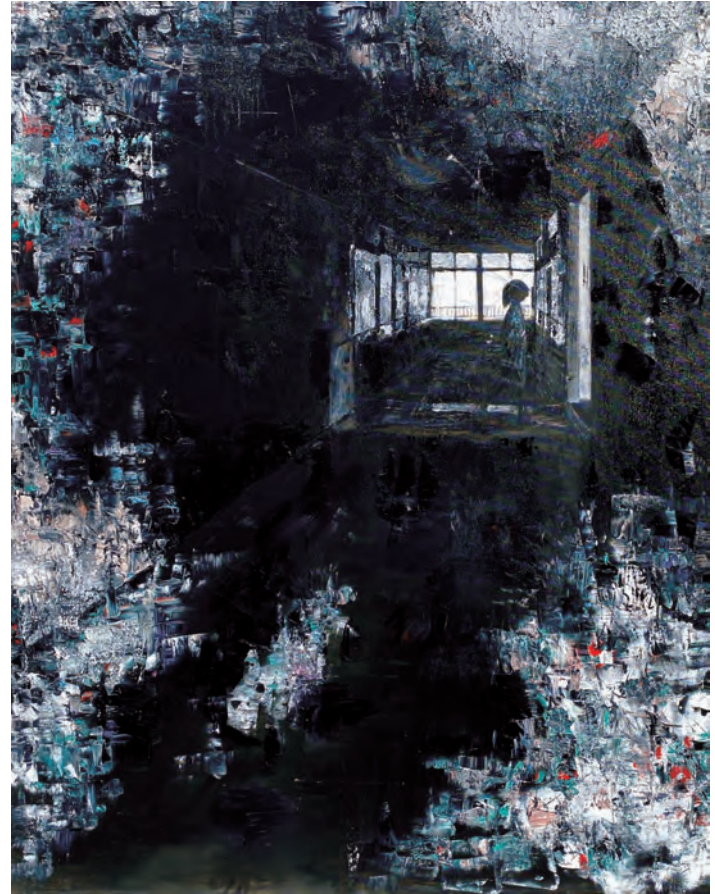
《一瞬》
西山 羽衣子
市立札幌平岸高等学校1年



《鲜美透涼》
新井 芽依
札幌大谷高等学校2年



《くじらのゆめ》
寺下 幸来咲
札幌大谷高等学校2年



《碎》
竹内 向日葵 札幌大谷高等学校1年

寸評（佐藤光雄）

画面の大部分を占める黒は、破壊された建物に一人佇む姿から寂寥感を誘い求心力を高めている。



《宇宙のなかのひとつ》
金山 唯 江別市立江別第二中学校2年

寸評（佐藤光雄）
小品だが知的で秀でた画面構成が素晴らしく、
壮大な宇宙空間に位置する地球愛を強く意識する。



《Mainstream》
田村 佳凜
千歳市立青葉中学校3年



《伝生器》
横島 晴菜
北海道おといねっぶ美術工芸高等学校1年



《くつろぐ猫》
南出 光
北海道芸術高等学校1年



《南のあなたに恋をする》
佐藤 かえで
北海道おといねっぶ美術工芸高等学校2年



《銀山温泉》
上野 琴音
北海道檜山北高等学校3年



《煌めく万緑》
菱沼 夕楓
岩内町立岩内第一中学校3年



《光が差す》
押領司 美心 札幌大谷高等学校2年

寸評（佐藤光雄）
身近で何げない風景の地面に織り成す光と影に
注目して、その変化を多角的に描出した佳作。

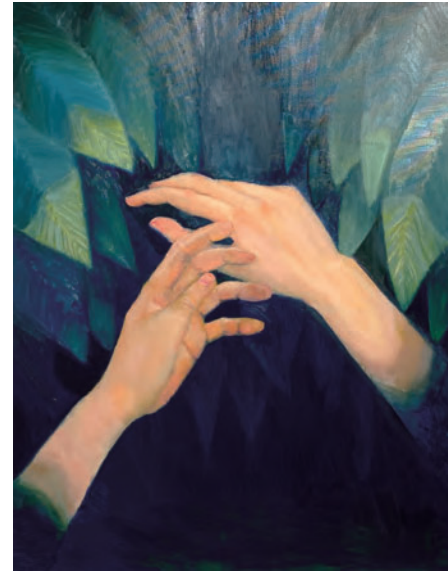


《私の滅日》
山田 百花 北海道おといねっぶ美術工芸高等学校2年

寸評（佐藤光雄）

思いや望みがはかなく消え去る心境を、

画面中央に上半身のみで絵にする大胆な画面構成は異色。



《若木》
越前屋 杏莉
北海道おといねっぶ美術工芸高等学校2年



《継承ソリン》
横山 すてら
北海道おといねっぶ美術工芸高等学校3年



《思い出》
金子 夢來
北星学園女子高等学校2年